

絶滅危惧類 ユキノシタ科

イワネコノメソウ

Chrysosplenium echinus Maxim.

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

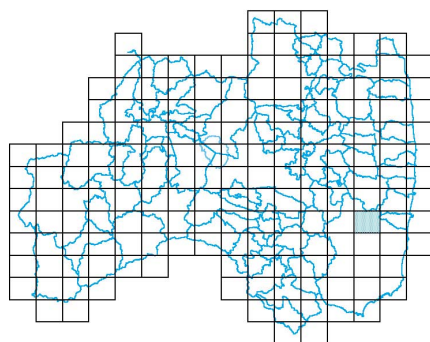
【形態】 根出葉は花時には枯れて残らない。茎葉は1~2対生し、葉身は扇形または円腎形で、長さ2~8mm、幅3~10mm、基部は切形または広いくさび形で、上縁には3~5対の内曲する鋸歯がある。花後、花茎の基部から地上性の走出枝を生じ、4~5対の大型の葉をつけ、先端にロゼットをつくらない。花期は4~5月。花は径3~5mm、がく裂片は裂開し、緑色でときに部分的に暗赤紫色を帯びる。種子には乳頭状突起を生じる。

【分布】 本州(関東~東海地方)・四国・九州に分布する。日本特産種で、福島県が分布の北限である。

【県内の分布、生育状況】 浜通り地方を主に中通りの一部の地域に分布し、樹林に被われた沢に沿う陰湿な砂地に生育している。

【生育に影響を与えている要因】 森林伐採、河川開発

【特記事項】 渓谷林を含め渓谷全体の環境を保全することが望ましい。



絶滅危惧類 ユキノシタ科

オオシラヒゲソウ

Parnassia foliosa Hook. f. et Thoms. var. *japonica* (Nakai) Ohwi

【選定根拠】 全ての個体群で個体数が減少

【形態】 シラヒゲソウの変種で、原種によく似ているが、全体に大型である。根出葉の葉身は長さ幅とも4~6cmで、茎葉はやや数が少なく2~4個。花は径3~3.5cmになり、花弁は縁毛も含めて長さ1.6~1.8cmになる。仮雄しべは長さ約5mm。

【分布】 本州(秋田県~兵庫県)の日本海側に分布する。

【県内の分布、生育状況】 会津地方西南部の一部の地域に分布し、河川流域の湿った岩上などにまれに生育している。

【生育に影響を与えている要因】 河川開発、園芸採取

【特記事項】 生育地の環境を保全するとともに、鑑賞のための採取・販売・栽培をしないことが望ましい。

